

やはり 北海道、東北、中国、四国、九州の組合員の声に応えよう

集配拠点再編は自主退職＝首切りだ

本部方針を否決しよう！

いよいよ最終日、採決の日となりました。全国の代議員の皆さんに心から訴えます。現場組合員の怒りを込めて、本部方針にきっぱりと反対票をたたきつけよう！ 中央本部に不信任をつきつけよう！

1日目、2日目の討論で各地の代議員から次つぎ出された意見でも、集配拠点再編とは、とうてい働き続けることのできない状態にたたきこむことで、自主退職を迫る首切り計画だということが、いよいよ明らかとなりました。本部は、「雇用は法的に担保されている」とか、「雇用は確保された」とか言っていますが、そんなものには、まっ

たく何の保証もありません。

国鉄の分割 民営化のときをみるならば、40万人いた国鉄労働者がJRがスタートした時点で20万人にまで減らされたのです。郵政の分割 民営化においても、来年10月までに、どれだけの首を切るかを生田 西川は、たくらんでいるのです。西川は大会初日のあいさつで、「一定の緊張関係と、ざつぐばらんな話し合い」などと言いましたが、これこそ無慈悲に首を切る意思を示したものです。そして、組合がその首切りの手先となることを迫るものです。

みなさん、本部方針を否決しよう！

**「あやまりない対応」「地方と連携」
（中間答弁）に絶対だまされな！**

本部は、ただただ「時間がない」だから「本部一任」と言うだけで、まったく組合員の声には答えていません。昨日の中間答弁で「あやまりのない対応」だとか「地方本部と連携し」と言いました。だがこれは、公社 新会社と一体になって何とかうまく首切りを推進する、それを各地方に強制し貫徹していく、と言っていることにすぎません。

百歩ゆづつたとしても、帰属会社や職場について百パーセント本人の希望が実現されること、あたりまえのことです。それまでは、一切妥結する必要はないし、妥結などできないはず。郵政民営化です

ら、民営会社のスタートを半年延期しても構わないとされているではありませんか。

JPSについても、そのあまりのデータラメさを指摘し弾劾する発言が続出しました。きつぱり廃止を求めめる発言には大きな拍手が起きました。トヨタ方式とは、労働者をどんな理不尽な命令にも服従する奴隷にしてしまうための意識改革の攻撃です。本部は、ここを押し隠しています。また内務 外務の一体化についても「民営化へ向け必要」と言いました。



本部一任は認めない！ 大会会場周辺をデモ行進する全国から駆けつけた組合員（1日目）

現場の怒りを反映した多くの代議員の発言から、本部は逃げまわり、何とかごまかして「本部一任」を取り付けようと画策しています。だが、いったん「本部一任」などしたら、その先は地獄への道です。集配拠点再編ひとつとってみても、早朝5時台始業だとか、片道何時間もある通勤や集配など、とうてい働き続けることのできない条件を強制し、自主退職＝首切りを仲間にも迫ることなどできません。集配拠点の再編大合理化に反対の票をつきつけよう。

**全国労組交流センター
全連労働者部会**

東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂伊藤ビル5F
TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463
E-mail:centergo@nifty.com
URL:http://www.k-center.org

改憲と米軍基地再編に反対する大会決定をかちとろう

本部は、改憲反対の運動方針を出せ！

憲法改悪問題と米軍基地再編についても、多くの地本の代議員から明確な闘う方針を要求する意見があいつぎました。これに対する本部のあいまいな態度を絶対に許さず、改憲と米軍基地再編に反対する大会決定をかちとろうではありませんか。

憲法9条改悪を認めるのか、否か。このことに、本部は一貫してあいまいな態度に終始して

菰田 難波執行部を打倒し、 郵政民営化絶対反対貫こう

小泉政権は、1千兆円を超える破局的な財政危機にあえぎながら、国益をかけて米帝ブッシュの米軍再編（トランスフォーメーション）とともに、世界戦争を推進する決断をしました。戦後の階級関係を一扫するために、今通常国会で改憲と一体の反動諸法案の成立を前倒しで行おうとしたのです。

その最大のターゲットに全通、日教組、自治労そして国鉄労働運動の4大産別の解体と、連合の産業報国会化をすすめています。国鉄の分割・民営化に続く郵政の分割・民営化の核心的狙いもここにあるのです。前首相の森は、郵政民営化について、「民主党を支えている連合傘下の全通、自治労、教労などの組合をつぶすこと」が狙いであると公言しています。



「本部一任反対」「代議員・傍聴者は頑張り」と連帯のシュプレヒコールをあげる全国から集まった組合員（6月14日、大会会場前）

いまこそ、連合支配を打ち破る新たな闘う労働運動の潮流を、職場生産点を基礎に作りあげることです。その手本は、国鉄の分割・民営化にストライキで闘い、今なお国鉄1047名闘争と組合の団結を堅持し、鉄路を武器に闘いぬいている国鉄千葉動力車

います。それは憲法改悪に賛成しているからです。「連合方針に沿って慎重に」というのは、憲法9条改悪を認めるということです。菰田委員長が参加し賛成した連合中央執行委員会（1月19日）の国民投票法案推進の立場こそ、全通を改憲勢力にしようとするまぎれもない証拠です。いまこそ、憲法9条改悪反対の大会決定を断固かちとろう。

労働組合です。学ぶべき核心は、天下国家を論じとことん現場の労働者に依拠し信頼し、原則的な路線の確立と練り上げられた実践的方针を打ち出せる指導部と組合員の団結にあります。

企業防衛主義と愛国主義は同根です。それを路線とする連合労働運動に展望はありません。民営化に反対できない労働運動は、戦争にも改憲にも反対できません。連合全通中央・菰田難波は、労働者の生命と生活を破壊する帝国主義を支える労働運動の推進者です。国鉄労働運動とともに、戦後労働運動を牽引してきた全通労働者の誇りにかけて、郵政民営化攻撃のただ中で、本部派の支配を打ち破る闘いをもつくりあげよう。

「時間が無い」は、本部一任をのませるデマだ！ ネクタイを外して、徹底討論を行おう！

小泉政権の改憲、民営化・規制緩和と「労組破壊の攻撃に、職場生産点から12万全通労働者の怒りを束ね、78年反マル生越年闘争を上回る反撃を開始しよう。郵政民営化攻撃に屈服し、集配拠点局再編大合理化を始め、アクションプラン2合理化による首切りを推進する連合全通中央・菰田 難波執行部を打倒しよう。郵政民営化絶対反対、超勤拒否・物ダメ・ストライキ方針を掲げ、現場から増員増区など具体的要求をまとめ、闘いを組織しよう。その力で改憲決戦を現場から組織し、階級的労働運動を切り開こう。青年労働者は、先頭でたたかおう。